

資料 1

令和 6（2024）年度事業計画

自令和 6 年 4 月 1 日 至令和 7 年 3 月 31 日
公益財団法人 大平正芳記念財団

事業計画概要

公益財団として 3 つの中核公益事業・「環太平洋学術研究奨励事業」、「北京日本学術研究センターとの共同事業」、「当財団の事業について普及・啓発・啓蒙を行う事業」について、個々の公益性にしっかりと留意しつつ、例年事業を着実に遂行する。

1 環太平洋学術研究奨励事業

(1) 第 40 回大平正芳記念賞 正賞 4 件に対しクリスタル牌と
賞金 500 万円

① 緒方 宏海 氏（香川大学経済学部教授）

『辺境からの中国－黄海島嶼漁民の民族誌』

風響社 2023 年

② 熊谷 聡 氏（日本貿易振興機構アジア経済研究所）

中村 正志 氏（日本貿易振興機構アジア経済研究所）

『マレーシアに学ぶ経済発展戦略－「中所得国の罠」を克服するヒント』

作品社 2023 年

③ 櫻田 智恵 氏（上智大学総合グローバル学部総合グローバル学科助教）

『国王奉迎のタイ現代史－プーミポンの行幸とその映画』

ミネルヴァ書房 2023 年

④ 高橋 力也 氏（横浜市立大学国際教養学部准教授）

『国際法を編む－国際連盟の法典化事業と日本』

名古屋大学出版会 2023 年

- ⑤ 山口 航 氏 (帝京大学法学部専任講師)
『冷戦終焉期の日米関係—分化する総合安全保障』

吉川弘文館 2023 年

- (2) 第38回学術研究助成費 1件に対しクリスタル牌と
賞 金 120万円

- ① 影山 優華 氏
(同志社大学グローバル・スタディーズ研究科博士後期課程)
『アジア太平洋地域におけるインクルーシブな安全保障共同体の構築—フェミニスト平和運動のトランスローカルな連帯実践の事例から』

2 北京日本学研究センターとの共同事業

- (1) 第20回「日本語優秀学位論文大会」の開催
※6月20日前後(卒業式に合わせ)に表彰式を行う。

- (2) 日本語名著翻訳事業 候補作検討中

3 当財団の事業について普及・啓発・啓蒙を行う事業

- (1) 公的機関を通じて故大平正芳の関係資料等の公開を行う事業。
① 大平正芳記念館の運営のサポート
- (2) 「大平正芳記念財団の事業」パンフレット及び「大平正芳記念財団レポート」発行と無償配布の事業
① 「大平正芳記念財団の事業」パンフレットの発行
ア 「大平正芳記念財団の事業」パンフレット
イ 「大平正芳記念財団の事業活動」(2023年6月から2024年5月まで)リーフレット
② 「大平正芳記念財団レポート」第42号の発行
③ 「硯滴考16号、17号、18号」の発行
④ 「大平正芳の中国・東アジア外交」の広報
- (3) HPでの広報活動
- (4) 香川県立観音寺第一高等学校(大平総理母校)
大平賞 (文化学術優秀チーム・卒業式で表彰)